



全国の都道府県手話サークル連絡協議会等での

2月17日(土)

約20団体50名近い参加

Zoomによる講演会及び懇談会参加

プラスヴォイス三浦社長を講師にお招きして、能登地震での体験を中心に、災害時の聴覚障害者支援についてご講演頂きました。

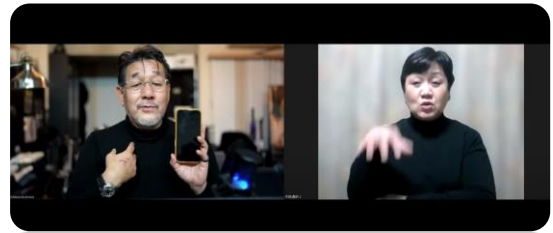
プラスヴォイスは、聴覚障害者がいつでもどこにでも電話ができる通信インフラを広げるため、約25年前に設立された会社です。

情報通信のバリアフリーを目指して、耳の不自由な方の為にITを活用した遠隔手話通訳等、通信コミュニケーションサービスを提供しています。



▼プラスヴォイス実績▼

- 1999年の東海村臨界事故の頃、当時の携帯電話はキャリア間でしかメールができない状況でした。
→FAXによる一斉配信などで「家から出ないでください」とサポート。
- 2004年の新潟県中越地震の頃、携帯電話によるEメールが普及しました。
→メーリングリストを作って情報の共有をサポート。
- 2011年の東日本大震災の時には、→遠隔手話通訳、電話リレーサービス、情報配信を行う。



三浦社長は東日本大震災の際、ITを積極的に活用し聴覚障害被災者の方々をサポート。その後も災害の度に奮闘してこられた方です。

今年1月1日の能登半島地震発生の後には、すぐさま石川県へ赴き、県協会と連携して半島の道無き道を回り聴覚障害被災者の安否確認や、手話でコミュニケーションできる環境を整える為にご尽力されたといった貴重なお話も伺えました。

Let's study!

電話リレーサービスと遠隔手話通訳

前に「新ともに歩むために」のPoint8とPoint9にも掲載されたね。

話したい相手が遠方にいるとき、手話で電話を掛けたり受けたりできるのが電話リレーサービス。

話したい相手が目の前にいるのに手話がわからないとき、画面越しに手話通訳してくれるのが遠隔手話通訳ね。

もっともっと日常的に使えるようになると便利だね。



各避難所に点在していた聴覚障害者は、不便だけでなく、励まし合うこともままならずに孤立していたというお話は、本当に胸をえぐられる思いになりました。そんな時…なにができるだろう？

サークル紹介

特集 16 号
総武ブロック
輪の会
の巻〜♪



市川市手話サークル輪の会は市川市を本拠地として活動している手話サークルです。

昭和 48 年(1973 年)に現市川市ろう者協会の下部組織として誕生し(その時は夜の部のみ)、平成 3 年(4 年との説もあり)(1991 年)に昼の部ができ、紆余曲折を経て、平成6年(1994 年)市川市ろう者協会から独立し現在に至っています。

平成 10 年に 25 周年記念クリスマス会を、平成 20 年に 35 周年記念クリスマス会を実施し、今年令和 5 年(2023 年)に 50 周年を迎えました。

会員数は令和 5 年 11 月 19 日現在 63 名(昼の部 38 名、夜の部 25 名)です。

昼の部は毎週火曜日午前 10 時~12 時まで市川駅近くの駅南公民館において例会を実施しています。会員を3つのグループに分け、グループごとに内容について計画をたてて例会を運営しています。例えば、指文字の練習の後、交流会を行い一人ずつ前に出て名前・住んでいる所・趣味・最近楽しかったことや嬉しかったことなどを手話で表現したり、夏の思い出をCL表現のテーマに一人ひとり CL を使い夏の思い出を表現する学習をしたり、「家の中にある家具」を、手話・指文字・音声言語を使わず身振りやジェスチャーで一人ずつ前に出て表現したり、「地図の説明」の表現などのテーマで楽しく学習しています。

また昼の部は毎年行われる駅南文化祭に参加し、手話に関わるパネルを作成したりし手話の啓蒙にも努めています。



手話のレベルは会員それぞれマチマチですが、ろう者とのコミュニケーション方法である手話で和気あいあいとおしゃべりできるよう皆頑張っています。

夜の部は同じく毎週火曜日午後 7 時から 9 時まで本八幡の全日警ホールにおいて例会を実施しています。夜の部はほとんどの会員が仕事終了後からの参加なので、会員が集まるまで指文字の練習(都度テーマを決めて先ず指文字で表し、次いで手話で表現やグーチョコキパーじゃんけん大会(負けた手の形で手話単語を表してもらう)などをし、ある程度集まったところで週ごとのテーマで学習しています。第1週・第2週は手話の文法を中心に、第3週は決められたテーマの絵を見てグループごとにストーリーを考えて発表、最終週はろう者を講師としてお迎えし手話歌を行っています。

輪の会全体ではゲストを招いたミニ講演やいちかわ市民まつりでの街頭カンパやゲーム、クリスマス会を開催しています。(最近まで新型コロナウイルス禍で実施できないイベントもありました) また、市川市の四団体(市川市ろう者協会、手話サークル輪の会、手話サークル汐風千通研市川班)共同で日帰りツアーに参加してろう者と交流したり、手話奉仕員養成講座の受付を担当したりしています。

第 5 回役員会議 3 月 9 日開催予定 南総ブロックについて 役員選出について

第 20 回県サ連定期総会とイベントについて 他 予定

県サ連ホームページ <http://www.kensaren.sakura.ne.jp/>

発行：千葉県手話サークル連絡協議会 責任者：外口晴久